大麻草成分の種類

大麻草に含まれる化学物質の総称植物性 カンナビノイド

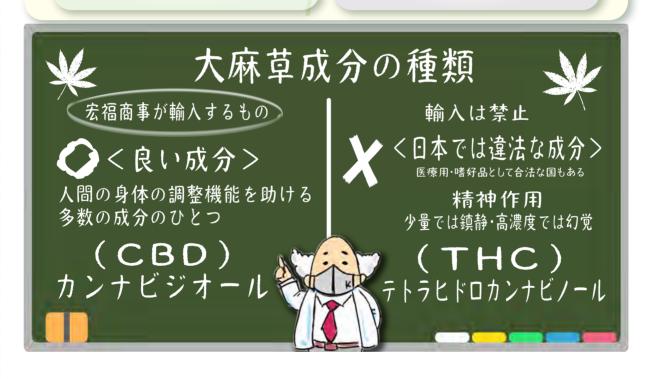
CBD(カンナビジオール)

他の有効成分 CBN(カンナビノール) 鎮静作用や食欲増進作用

CBC(カンナビクロメン) 他の植物性カンナビノイドと連携して 部分作用薬として受容体に働きかける **THC**(テトラヒドロカンナビノール)

精神作用 鎮静・幻覚 吸引で気持ちがハイになるのは、 この成分の高濃度の影響。

医療用・嗜好品で認可されている国もある



カンナビノイドには内因性と植物性があり 体内で生産されるものは内因性カンナビノイドと呼ばれます

植物性・内因性ともに、人間の体内にある カンナビノイド受容機能エンド・カンナビノイド・システム に作用し健康な身体への手助けとなります

違法マリファナと産業用ヘンプ

同じ大麻草でも産業用ヘンプと違法薬物マリファナは違います

産業用ヘンプ

カンナビジオール (CBD) **20%以上** テトラヒドロカンナビノール(THC) **0.3%以下**

※輸入されるものはCBDのみが抽出され **THCは0%** のものです

ものが違うのです

違法薬物マリファナ カンナビジオール(CBD)10%以上 テトラヒトロカンナヒノール(THC)20%以下

※THC成分は微量でも輸入できません

ちがうんですね



CBDもマリファナも大麻草から精製されます その違いは

多数ある 成分のひとつ THCの有無がポイント

(テトラヒドロカンナビノール) 鎮静・幻覚等薬理作用

CBD (カンナビジオール) 他、有効性のある成分 産業用ヘンプなどから 抽出される

> THCを 含まない

違法薬物マリファナ 医療用・嗜好品で 認可されている国もある

> THCを 含む

大麻草成分

450種以上 半分以上はカンナビノイドとテルペノイド

カンナビノイド 115種

CBD (カンナビジオール)

(痛み、関節炎、不安、吐き気、発作、発疹)

CBDV(カンナビジパリン)

(てんかん、パーキンソン、発作)

CBDQ(カンナビジオール酸)

CBC(カンナビクロメン)

CBN(カンナビノール)

(鎮静剤として作用、睡眠)

CBG(カンナビゲノール)

(睡眠・気分・食欲調節、不安、うつ)

THC(テトラヒドロカンナビノール)

(精神作用、幻覚作用)

テルペノイド 120種以上

コルセン

(リラックス、抗炎症作用)

UE\$1

(ストレス緩和、抗うつ作用)

ピネン

(気管支炎への作用)

リナロール

(抗不安、抗炎症作用)

カリオフィレン

(抗炎症)

フロレン (抗炎症作用、食欲抑制)

その他の成分 炭化水素 糖類 窒素化合物 フェノール類 フラボノイド類 アミノ酸 など

抽出。精製

CBD (カンナビジオール) 04

安価 最も多く流涌



THC なし

アイソレート ブロードスペクトラム

カンナビジオール

玉ルセン リモネン ビネン リナロール

テルペノイド

その他の成分

THCのみ取り除いたもの



THC 14L

フルブロードスペクトラム

カンナビジオール CBC PC CBC CBC CBC CBC

テルペノイド ミルセン リモネン ビネン リナロール カリオフィレン フムレン など

その他の成分

全ての成分



THC



CBDの効能及び製品

CBDの効能

CBD が直接働きかける

体内のエシドナシオピノイドシステム

老化や記憶・免疫調整・感情抑制・神経保護・運動機能

生活習慣の維持、イライラ、不安、もやもや。 ラフはど心のケア、良質は睡眠。 脳や臓器の疲れ、エイジシグケアはどの手助け

これまで多くの臨床試験が行われ、 抗ガン効果や抗炎症、鎮痛効果など 様々な活用方法について検証が進められています

CBD製品

食品・飲料及び健康食品 CBD オイル、 ドリンク、 ビール、 サプリ、グミ その他菓子類

電子タバコ VAPE、 電子タバコなど 化粧品及びスキンケア用品 クレンジング、 化粧水、乳液、 クリーム、美容液、 パック、 リップケア、 マッサージ用オイルなど

ペットオイル、 ペットフードなど

CBDとテルペン配合製品

テルペンとは

植物がその健康を維持するうえで重要な役割 大麻草にもさまざまなテルペンが含まれています

アロマオイルの主成分植物の香りや色味の元になっている成分

CBDとテルペンの相互作用アントラージュ効果

自然の大麻草は CBDとテルペンの相互作用が 植物として自生する手助けになっている



他の薬理成分を一緒に摂取する

より高い効果が得られるアントラージュ効果

デルペンを配合した 有効性の高いCBD製品

宏福商事 CBD事業

I CBD原料卸販売

CBDアイソレート CBDブロード 乳化ナノCBD

中国最大手CBD原料メーカーの総代理











2 自社ブランド国内販売及び海外輸出











3 OEM製品開発及びコンサルティング

CANNABIDIOL

食品・飲料及び健康食品 CBD オイル、 ドリンク、 ビール、 サプリ、グミ その他菓子類

電子タバコ VAPE. 雷子タバコなど 化粧品及びスキンケア用品 クレンジング、 化粧水、乳液、 クリーム、美容液、 パック、 リップケア、 マッサージ用オイルなど

ペット用 ペットオイル、 ペットフードなど

4 関連会社と提携し医療用研究開発



一般社団法人国際ウェルネス技術協会 CBD臨床研究の (CBD 漢麻健康研究委員会) 推進及び研究

医療社団法人 啓愛会 医療への 応用研究

CBD原料の種類



大麻草などに含まれている化合物 全で含まれている抽出物から THCが除去されたもの 大麻草からCBDを99%以上の濃度で 分離した純粋なCBD CBD以外の成分は含まず、 CBD成分以外を全て取り除いている

乳化ナノCBD ※CBD含有量10%、その他、ポロキサマー(乳化剤)、EDTAニナトリウム(金属キレート剤)、マンニトール(糖アルコールの一種で甘味のある水溶性結晶で、食品添加物に利用される)

THC	CBD ブロード スペクトラム	CBD アイソレート	乳化ナノCBD
CBD 濃度	50% (総カンビノイド80~90%)	99%以上	10%
溶媒	脂溶性	脂溶性	水溶性
原料の特徴	総カンビノイドの 相乗効果	高純度純白	甘味料添加 ドリンク類用 水に溶けやすい

CBD 抽出方法と安全性

2種類の抽出方法

1,原材料の収穫 2,原材料の前処理











3、エタノール抽出

4, 濾過

5. 濃縮

6,分離精製

7. 濃縮

8. 乾燥

9.エアジェット粉砕 10.試験 11.梱包



3, 二酸化炭素抽出

4, 二酸化炭素に 加圧、加熱

5, 気体と 液体の中間 「超臨界流体」



6, 大麻草投入→流体に成分溶け出す

7, 減圧→気化 CBD等の成分残る

安全性第一 3段階検査

輸出前

HPLC による検査

(業界専門試験所での一般的に使用されている検出器)





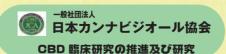




輸入時

厚生省 (閩東信越厚生島麻藥取締部) による検査 → 輸入証明・成分分析審査 税関による輸入検査 → 成分検査

輸入後第三者機関による検査





-般社団法人国際ウェルネス技術協会 (CBD 漢麻健康研究委員会) CBD 臨床研究の推進及び研究

CBD製品と摂取方法



くクリーム・化粧品等> 摂取方法:皮膚に塗布

くオイルリキッド>

摂取方法:皮膚に塗布

経口摂取

・ドリンクに入れる・原液を経口摂取)





くヴェポライザー>



摂取方法 吸引

摄取方法:経口摄取

くグミ・キャンディー>



〈ドリンク〉



<ペットフード>





